



TOYO TANSO  
Inspiration for Innovation



第67期 中間株主通信

2008年6月1日～2008年11月30日

証券コード 5310

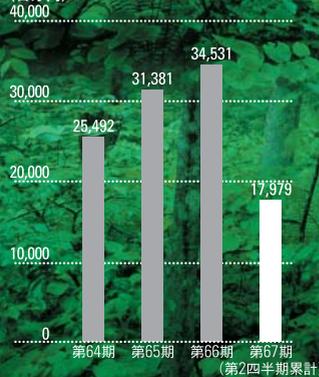


# TOYO TANSO

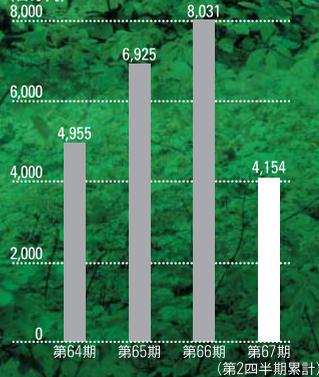
Inspiration for Innovation

## 財務ハイライト(第67期の実績は第2四半期累計期間)

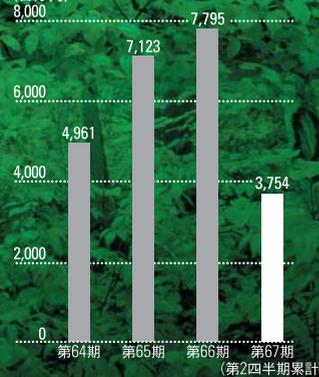
### 売上高 (百万円)



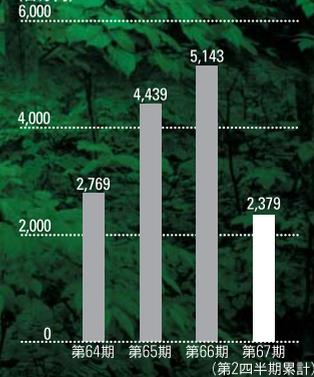
### 営業利益 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



### 当期純利益 (百万円)



## 急速な環境変化をチャンスに

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第67期中間株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間におきましては、金融危機深刻化の影響が実体経済に波及し、全世界において景気下振れリスクが急速に高まる等、経済環境の激変による景気変動の影響を少なからず受けました。このような状況の中、当企業グループでは、市況の変化をいち早く捉え、環境・エネルギー関連分野を中心に、高成長分野・地域へのシフトおよび高付加価値化を敏速に進めました結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、原燃料価格の高騰や為替の急激な変動により若干の減益を余儀なくされたものの、市況低迷分野での需要減少を吸収し、増収を確保いたしました。

現在、金融危機のさらなる深刻化と実体経済への波及拡大を背景として、世界経済の下振れリスクは一段と高まっております。円高の進行や世界同時不況にともなう需要低迷は深刻さを増しており、当企業グループにおきましても、これらの影響による調整は避けられない状況にあります。一方、世界的な環境意識と省エネ志向の高まりを受けて、太陽電池市場の急速な拡大や、新しい原子力発電の推進等、各国で環境・エネルギー分野における新たな展開が見られております。これらの分野において、高機能カーボンは欠くことのできない素材であり、需要構造には今後大きな変化が生じることが予想されております。

当企業グループといたしましては、このような環境変化をチャンスと捉え、環境・エネルギーをはじめとした高成長分野・地域へのシフトならびに高付加価値化を加速するとともに、これらの分野での中長期的な需要拡大をにらんだ生産能力増強投資を継続して進めてまいります。また、この他に高機能カーボンの使用領域は未開拓の分野も多く、新製品の開発および新規用途の開拓に一層注力してまいりたいと考えております。

厳しい経営環境下にあります。これらの施策によって業績の確保に最善を尽くすとともに、リーディングカンパニーとして業界の発展に努め、社会の信頼と期待に応えていく所存でありますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年2月



代表取締役社長

近藤 純子



# ショールーム誌上見学会

## 東洋炭素の製品をご案内します

当社は創業以来、炭素製品のパイオニアメーカーとして  
これまで発展を遂げてまいりました。

炭素製品の可能性は広がり、私たちの活躍の場は世界規模で拡大しています。

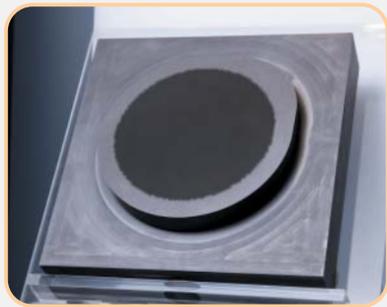
今号の特集では、炭素製品について、より深くご理解いただけるよう、  
当社の製品ショールームをご紹介します。



当社が業界に先駆けて量産化に成功した「等方性黒鉛」には、熱および電気伝導性に優れ、高温や薬品への耐性が高く、軽量で加工が容易、摩擦・摩耗が起こりにくい等様々な優れた特性があります。これらの高い性能と信頼性が評価され、今日では幅広い産業分野でなくてはならない素材として活躍しています。

#### ヒーター Heater

半導体および太陽電池関連では単結晶シリコンが多く使用されていますが、その製造過程でシリコン引上げ用の発熱体として必要不可欠な部材であり、熱および電気伝導性に優れ、高温への耐性が高く、複雑な形状への加工が容易という、黒鉛の特性が活かされています。



#### 原子力用炉心構造材

Atomic power core material

高度な耐熱性、熱伝導性、耐食性、安定性等高い信頼性が求められる原子力分野でも当社は、日本原子力研究開発機構との25年以上にわたる取組み(共同研究含む)により、データ・ノウハウの蓄積を重ねてまいりました。



#### 放電加工用電極 EDM electrode

放電加工とは、電極と工作物との間に直接放電を発生させて、放電にともなう高温高圧により電極の形状を工作物に転写加工し金型を作成する方法です。黒鉛は従来から使用されている銅電極に比べ、切削性に優れ加工速度が速いため、現在、銅電極から黒鉛電極への置き換えが進んでいます。



特殊黒鉛

一般  
カーボン

複合材  
その他



一般カーボン製品は電気用カーボンと機械用カーボンの大きく2つに分けられます。電気用カーボンは、主にモーターのカーボンブラシとして使用されており、永年の研究による卓越した技術と厳正な品質管理により、様々な顧客ニーズ、用途に応じたカーボンブラシを製造しています。機械用カーボンは、自己潤滑性、耐熱性、耐薬品性等の特性を活かし、一般の金属摺動材では使用できない高温雰囲気、液中および潤滑材を嫌う分野で幅広く使用されています。

### ベアリング Bearing

ベアリングは互いに接触しながら摺動する部分に使用されており、その中でもカーボンベアリングは自己潤滑性に優れ、摩擦係数が低く、凝着が起りにくい性質があります。これらの特性を活かし、無潤滑域(大気中の常温から高温にかけて)や潤滑域(水や薬品等の各種流体)での産業用、家電用、自動車用ポンプのベアリング等幅広い分野で使用されています。



### パンタグラフ用すり板

Pantograph slider

パンタグラフはトローリー線(架線)から電車へ給電する重要な役割を担っており、すり板はパンタグラフの上部に装着されています。すり板は黒鉛と金属の最適な配合により構成された複合材料で、黒鉛の自己潤滑性と金属の電気伝導性を活かし、トローリー線の摩耗および電波障害を低減させた環境に優しい製品です。



### ブラシ Brush

ブラシは摺動接触により、静止部と回転部の間に電流を流す重要な役割を果たし、ブラシの性能がモーターや発電機等回転機の性能を大きく左右します。当社のブラシは家電、電動工具等の小型ブラシを中心に幅広い産業分野で活躍しています。





特殊黒鉛  
一般  
カーボン  
複合材  
その他



半導体をはじめとする産業技術の急速な進歩にともない、黒鉛に求められる特性や性能もより高度化しております。それらの要請に応えるため、黒鉛素材への化学処理や、黒鉛と他素材との複合化等さらなる高付加価値化を進めています。

## C/Cコンポジット

C/C composite products

炭素を炭素繊維で強化した複合材料で、軽量、高強度、高弾性等炭素繊維の特性と黒鉛の特長である耐熱性を備えており、さらには複合材料であるがゆえの高靱性も備えております。このため半導体分野、工業炉関連をはじめ太陽電池製造用や核融合炉関連等最先端の分野へも使用範囲が拡大しています。



## MOCVDサセプター MOCVD susceptor

高純度等方性黒鉛の表面に、緻密なSiC(炭化ケイ素)を被覆することにより、使用環境から黒鉛を保護するとともに黒鉛からの不純物の放出を防止します。省エネルギー性に優れ、自動車のヘッドライトや家庭用照明等幅広い分野での普及が確実視されるLEDの製造過程において、ウエハー表面に結晶膜を堆積成長させる工程で使用されています。



## 黒鉛シート Graphite sheet

主にコークスから製造される従来の黒鉛製品とは異なり、黒鉛シートは天然鱗状黒鉛を原料として製造された製品です。従来の黒鉛製品にはない柔軟性、圧縮復元性およびさらに高い熱伝導性や黒鉛本来の特性である耐熱性、耐薬品性等を兼ね備えています。これらの特性を活かし、電子機器用途等をはじめ幅広い分野で使用されています。

## トピックス 大阪大学と共同研究部門を設置

当社はこのたび大阪大学と連携し、先進カーボンの実用化に向けた総合的な研究開発を担う東洋炭素「先進カーボンデザイン」共同研究部門を大阪大学内に設置いたしました。

カーボンには、身近な生活空間から特に近年は太陽電池や原子力関連などの最先端分野になくはならない、まさに「古くて新しい」材料としてまだまだ無限の可能性を秘めています。本研究部門は、高機能カーボンのリーディングカンパニーとして高い技術力と実績を有する当社と、異種材料の接合やナノサイエンス・テクノロジー分野で優れた実績を有する大阪大学接合科学研究所のそれぞれの強みを生かし、カーボンとセラミックスや金属などの異種材料とのナノレベルでの

結合や複合化により、画期的な機能や特性を持った先進カーボンを生み出すことを目指しています。

その皮切りとして去る12月9日には同大学にてシンポジウムを盛大に開催するなど、産学連携の促進と異分野の交流を深めています。今後の成果は、世界的に深刻化する環境・エネルギー問題の解決に必ずや貢献していくものと期待しています。



シンポジウムでの講演風景

## トピックス 中国高温ガス炉向け黒鉛の大型受注が決定

当社は、中国政府の国家プロジェクトで次世代の原子炉建設計画である「高温ガス炉プロジェクト」向けに、原子炉の最重要部材である炉心用黒鉛材の受注を住友商事株式会社と共同で獲得しました。受注総額は数十億円、黒鉛素材量も千数百トンにおよぶ大型契約となり、主に2011年中に出荷予定です。当社黒鉛

の優れた熱的・機械的特性や耐放射線特性に加えて、長年にわたる中国清華大学および日本原子力研究開発機構の試験炉での稼働実績や共同研究の推進等が高く評価されたものです。

高温ガス炉は、熱効率が高く小型で経済性・安全性に優れることに加え、高温の熱を利用して水素製造や海水淡水化等も可能なことから、次世代のエネルギー供給を担う革新的な原子力システムとして世界的に注目され、各国でプロジェクトが立ち上がりつつあります。今回は1基分のみの受注ですが、本プロジェクト全体では全19基が計画されており、今後も優位性を活かして積極的な展開を推進してまいります。

また原子力分野はもとより太陽電池やLED関連等の様々な分野において、今後とも独創的でオンリーワンの製品・技術をもって地球環境保護やエネルギー革新に貢献してまいります。



建設予定地



プロジェクト完成図

## 近藤会長逝去のお知らせ

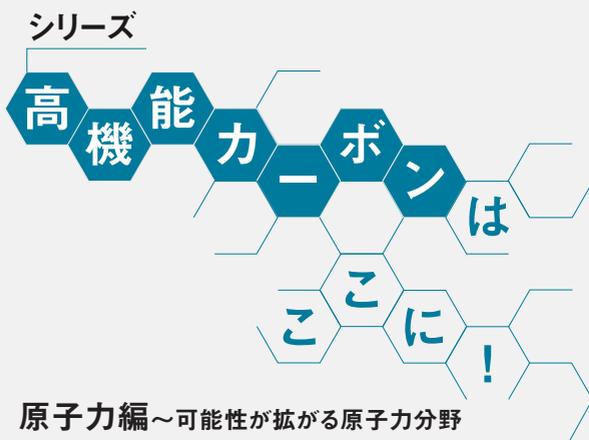
当社創業者、代表取締役会長近藤昭久が、2009年1月3日に永眠いたしました。

謹んでお知らせいたしますとともに、株主の皆様より生前に賜りましたご厚誼に対し心より御礼申し上げます。

近藤昭久は、1947年に当社を設立、以来「どこにもないモノをつくる」を理念に高機能カーボンの可能性に挑戦し続け、等方性黒鉛の量産化に世界で初めて成功する等、カーボン業界の発展をリードするとともに、当社の礎を築き今日の成長へと導いてまいりました。

当企業グループにおきましては、今後もこの創業精神を忘れることなく、株主の皆様をはじめとした社会の期待に応え続けるべく、事業の発展に邁進してまいります。





地球温暖化やエネルギー危機が世界的に叫ばれる中、原子力はCO<sub>2</sub>を排出しないクリーン・エネルギーとして世界規模で見直し気運が高まっています。発電分野においても米国・中国をはじめとして世界各国で原子力発電所の建設計画が持ち上がっており、今後20年間で世界で少なくとも150基以上の新炉増設が見込まれるとの推計も出ています。現在は軽水炉が主流ですが、近い将来、より環境に優しく多目的にエネルギーを活用できる高温ガス炉の重要性が高まってくると思われまます。既に米国やカザフスタン等でもプロジェクトが提案されており、今般の中国の「高温ガス炉プロジェクト」のスタートは、まさに高温ガス炉時代の幕開けを告げるものとなるに違いありません。当社の高純度等方性黒鉛はこの高温ガス炉の中核を担う炉心用構造材として採用され、世界的にも高い評価を得ています。黒鉛は、高速の中性子を減速させ閉じ込める特質を持っているとともに、極めて高い耐熱性や熱伝導性等を有して



① 中国清華大学試験炉 (HTR-10)  
② 核融合炉用炉壁タイル  
③ 核融合炉用  
アーマータイル



おり、炉心用構造材として最適かつ唯一の材料と言えます。

また、「太陽を地上につくる」との壮大な構想のもと、究極のエネルギー開発に向けて世界各国が参画する大型国際プロジェクト「ITER(国際熱核融合実験炉)計画」に関わる核融合炉関連分野においても、当社の高機能C/Cコンポジット材や等方性黒鉛が重要部材である炉壁材やダイバータ等に採用されています。今後のプロジェクトの本格化に伴い、世界各国での採用の可能性が広がっています。

その他に医療用や高温半導体用等における原子力関連分野でも、当社の高機能カーボンが活躍しています。今後もその活躍の場はさらに広がっていくことでしょう。

原子力をより安全により身近に活用するために、そしてかけがえのない地球の未来のために、当社の高機能カーボンは今更に進化してまいります。

連結業績概要

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、原燃料・資材価格の高騰や為替の急激な変動の影響に加えて、米国に端を発した金融危機深刻化の影響が実体経済に波及しつつある中で設備投資や輸出が弱含む等、景気減速感が強まりました。また欧米の景気後退懸念と相まって、中国等の新興諸国においても景気減速傾向が見え始める等、世界的に景気の下振れリスクが高まってまいりました。このような状況の中、当企業グループといたしましては、景気変動の影響を少なからず受ける中で、早くから注力してきた太陽電池用をはじめとする環境・エネルギー関連分野を中心に、市況の変化をいち早く捉えて高成長分野・地域へのシフトと高付加価値化を強力に推進するとともに、主力製品である等方性黒鉛製品に加えてC/Cコンポジット製品等の複合材製品を拡販する等、国内外の需要の取り込みに全力を注ぎました。

	ご参考		
	当第2四半期 (平成20年6月1日から 平成20年11月30日まで)	前第2四半期 (平成19年6月1日から 平成19年11月30日まで)	対前期比
売上高	17,979百万円	17,372百万円	3.5%増
営業利益	4,154百万円	4,343百万円	4.4%減
経常利益	3,754百万円	4,100百万円	8.5%減
四半期純利益	2,379百万円	2,491百万円	4.5%減

事業内容

■ 特殊黒鉛製品

特殊黒鉛製品は主に等方性黒鉛を使用しています。エレクトロニクス分野では単結晶シリコン製造用、化合物半導体製造用、太陽電池製造用等に使用されており、一般産業分野では金属溶解等の冶金関連や各種工業炉向けの高温発熱体および炉内構造物、金型製造時の放電加工電極等に使用されています。このほか、原子力、宇宙航空、医療用分野など幅広い分野で使用されています。



ヒーター



連続鋳造用ダイス

■ 一般カーボン製品

主に従来の成型法で製造された炭素材料を使用しています。機械用カーボン分野ではポンプやコンプレッサーの軸受け等の摺動部品や、気体や液体のシール材として使用されており、輸送機器用では、鉄道のパンタグラフ用すり板として主に使用されています。電気用カーボン分野では掃除機や電動工具等の民生用途における小型カーボンブラシや、産業用途における大型カーボンブラシに使用されています。



ベアリング



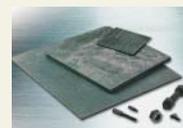
パンタグラフ用すり板

■ 複合材その他製品

等方性黒鉛材料を基材に他の材質をコーティングした複合材料であるSiCコーティング黒鉛製品のほか、カーボンとカーボンファイバーとの複合材料であるC/Cコンポジット製品、天然黒鉛を原料とする黒鉛シート等を製造販売しています。



エビサセプター



C/Cコンポジット製品(2次元機タイプ)

## 主要製品



るつぼ



封筒用治具



放電加工用電極



原子力用炉心材



パッキン



シールリング



大型ブラシ



小型ブラシ



MOCVDサセプター



工業用ガスケットおよびシール材



C/Cコンポジット製品(るつぼ)



C/Cコンポジット製品(角型るつぼ)

## 事業概況

エレクトロニクス分野は、半導体市況の悪化を受け調整色を強めたものの、世界的なエネルギー革新の流れを受け太陽電池製造用途等の需要が国内外で拡大し、引き続き伸長いたしました。一般産業分野は、自動車産業の世界的な落ち込みを背景に総じて弱含みで推移いたしました。その他特殊用途においては、中国高温ガス炉向けに大型受注が決定いたしました。

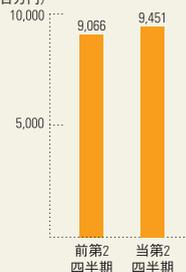
機械用カーボン分野は、石化プラントやエアコン・エコ対応給湯器関連向けに軸受け・シール材、またバンタグラフ用すり板等を中心に底堅く推移いたしました。電気用カーボン分野は、欧米経済の低迷の影響を受け低調に推移いたしました。

半導体用途は調整を余儀なくされましたが、太陽電池用途の拡大や高付加価値品シフトの進展に支えられ、特にC/Cコンポジット製品が大幅に伸長する等、全体として堅調に推移いたしました。

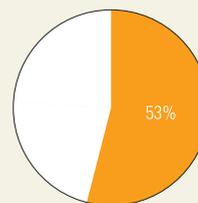
## 売上高・売上高構成比

### 特殊黒鉛製品の売上高

(百万円)

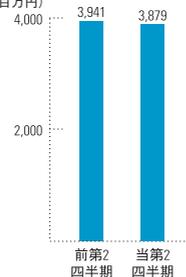


### 当第2四半期累計売上高構成比

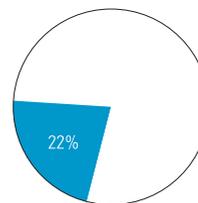


### 一般カーボン製品の売上高

(百万円)

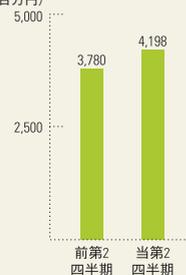


### 当第2四半期累計売上高構成比

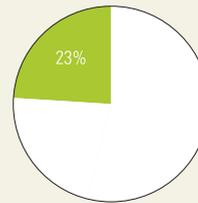


### 複合材その他製品の売上高

(百万円)



### 当第2四半期累計売上高構成比



## ポイント解説

### POINT ① ……資産

売上債権の回収が進んだことに加えて、借入金の返済負担の軽減等による現金及び預金1,061百万円の増加、および過少となっていた在庫の回復による棚卸資産1,271百万円の増加により、資産合計は2,390百万円の増加。

### POINT ② ……負債・純資産等

生産量増加にともなう原材料仕入等への支払手形及び買掛金486百万円の増加により、負債合計は272百万円増加。四半期純利益2,379百万円の計上等により、純資産合計は2,117百万円増加。

## 注記事項

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語等が、当第2四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、当報告書においては数値の比較がしやすいよう、主要な財務項目は並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値は参考データとしてご確認ください。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

	当第2四半期末 (平成20年11月30日現在)	前期末 (平成19年5月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	35,263,667	32,982,561
固定資産	24,833,333	24,723,995
有形固定資産	21,547,177	21,269,806
無形固定資産	390,144	376,647
投資その他の資産	2,896,011	3,077,541
資産合計	60,097,001	57,706,556
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,868,664	9,462,020
固定負債	1,586,987	1,720,938
負債合計	11,455,652	11,182,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本	47,840,539	45,731,968
評価・換算差額等	△387,906	△125,598
少数株主持分	1,188,715	917,228
純資産合計	48,641,349	46,523,598
負債・純資産合計	60,097,001	57,706,556

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

	当第2四半期 (平成20年6月1日から 平成20年11月30日まで)	前中間期 (平成19年6月1日から 平成19年11月30日まで)
売上高	17,979,844	17,372,957
売上原価	10,683,472	10,099,012
売上総利益	7,296,372	7,273,945
販売費及び一般管理費	3,142,243	2,930,307
営業利益	4,154,128	4,343,637
営業外収益	172,957	117,207
営業外費用	572,793	359,930
経常利益	3,754,292	4,100,914
特別利益	8,110	8,931
特別損失	14,818	24,054
税金等調整前四半期純利益	3,747,585	4,085,792
法人税等	1,097,866	1,449,473
少数株主利益	270,169	144,920
四半期純利益	2,379,549	2,491,398

## ポイント解説

### POINT ③ 損益

半導体・自動車分野の不振等の景気減速の影響を受ける中、環境・エネルギー等の高成長分野へのシフトと高付加価値化の推進により売上高は606百万円増加、原燃料・資材価格の高騰や減価償却費の増加等により営業利益189百万円減少、経常利益346百万円減少、当期純利益111百万円減少。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	当第2四半期 (平成20年6月1日から 平成20年11月30日まで)	前中間期 (平成19年6月1日から 平成19年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,384,727	3,007,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,687,737	△8,157,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369,043	△743,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,706	△9,555
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△2,721,759	△5,903,310
現金及び現金同等物の期首残高	10,491,890	11,558,559
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期首残高	—	76,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,770,130	5,732,193

## グローバル化の進展によりアジアを中心に海外売上高が拡大。 海外売上高比率56.8%

世界に広がる  
東洋炭素のネットワーク

- 本社および海外拠点
- 海外代理店



### 事業拠点 (2008年5月31日現在)

#### □ 国内事業所

本社・大阪営業所・海外営業部  
東京営業所  
東北営業所  
つくば営業所  
北陸営業所  
静岡営業所  
名古屋営業所  
広島営業所  
四国営業所  
九州営業所  
近藤照久記念東洋炭素総合開発センター  
東洋炭素生産技術センター  
詫間事業所  
萩原工場  
いわき工場

#### □ 国内関係会社

東炭化工株式会社  
大和田カーボン工業株式会社

#### □ 海外主要関係会社

TOYO TANSO USA, INC. (アメリカ)  
GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH (ドイツ)  
TOYO TANSO EUROPE S.p.A. (イタリア)  
TOYO TANSO FRANCE S.A. (フランス)  
SHANGHAI TOYO TANSO CO., LTD. (中国)  
SHANGHAI YONGXIN TOYO TANSO CO., LTD. (中国)  
SHANGHAI TOYO TANSO INDUSTRIAL CO., LTD. (中国)  
JIAXIANG TOYO TANSO CO., LTD. (中国)  
TOYO TANSO TAIWAN CO., LTD. (台湾)  
TOYO TANSO KOREA CO., LTD. (韓国)  
TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

### 地域別の売上高 (第2四半期累計)



## 株式の状況

(平成20年11月30日現在)

発行済株式の総数	20,750,688株
単元株式数	100株
株主数	9,282名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
近藤 純子	2,792	13.45
近藤 照久	2,503	12.06
近藤 朋子	1,560	7.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,264	6.09
近藤 尚孝	1,214	5.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,107	5.33
財団法人近藤育英会	834	4.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	566	2.72
近藤 孝子	533	2.56
株式会社みずほ銀行	360	1.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	360	1.73
株式会社百十四銀行	336	1.61

## 会社概要

(平成20年11月30日現在)

設立	昭和22年7月31日
本社	〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル10階
資本金	7,692,575,648円
従業員数	920名(単体) 1,971名(連結)

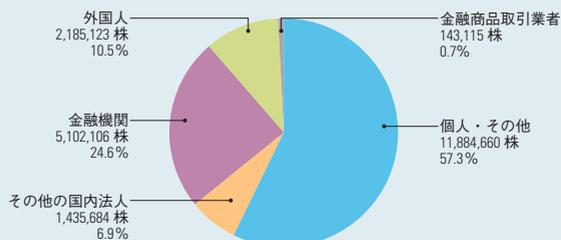
## 役員

(平成21年1月31日現在)

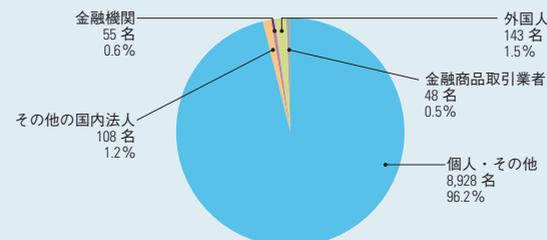
代表取締役社長	近藤 純子
代表取締役副社長	近藤 尚孝
取締役	平賀 俊作
取締役	東城 哲朗
取締役	松本 強資
取締役	中原 全生
取締役	三木 相煥
常勤監査役	加藤 澄雄
監査役	福井 進吾
監査役	江戸 忠一
監査役	田辺 陽一

(注) 監査役 福井進吾氏、江戸忠一氏および田辺陽一氏は社外監査役です。

## 所有者別株式数分布状況



## 所有者別株主分布状況



## 株主メモ

---

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	
定時株主総会	毎年5月31日
期末配当	毎年5月31日
中間配当	毎年11月30日
公告方法	当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

### 電子公告掲載

ホームページアドレス <http://www.toyotanso.co.jp>

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜二丁目2番21号  
中央三井信託銀行株式会社 大阪支店

郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(証券代行事務センター)

電話お問い合わせ先 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

上場証券取引市場 東京証券取引所市場第一部

証券コード 5310

---

### ■住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### ■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

---

**東洋炭素株式会社**

<http://www.toyotanso.co.jp>